

# 市民要望に寄り添う市政を

## 横浜・山中市政の

## 2年間と今後の課題

2021年8月の市長選挙で私たちも応援した山中市長は、それまでの市政運営を変え市民要望の実現に向けて努力しています。そして2年が経過しました、これまでの代表的な施策についてお知らせします。

発行 市民の市長をつくる会

### 公約実現について

山中市長は市長選挙に立候補したときに「カジノ誘致撤回」を掲げ約50万の有権者から支持を得て当選しました。そして9月市議会で「カジノ撤回、新たな劇場計画中止」と表明し最大の公約を実現しました。さらに「3つのゼロ」として、①敬老パス75歳以上自己負担ゼロ、②子ども医療費ゼロ、③出産費用ゼロ（基礎的費用）などについても施策を進めています。



### 中期計画の作成

#### 1. 山中市長の基本姿勢

- (1) 市民からも企業からも選ばれる魅力ある横浜をつくる。
- (2) 住民自治による市民のための市政を推進する。
- (3) 市民、市議会、職員と市長が一体となって上記の目標を実現する。

(就任時のあいさつ2021年8月30日)

初の議会でI R事業の撤退を宣言し、I R推進室廃止を表明。新劇場建設も同様に撤回し、担当部局を廃止して選挙時に掲げた公約をまずは実現した。しかし、市民と直接対話する施策などは不十分です。

#### 2. 中期計画について

2022年12月中期計画原案を公表し議会でも了承された。パブコメでは、1,979人・団体から4,273件の意見が寄せられ、市民からの期待感の表れです。しかし市民要望の反映も十分ではありません。特に、「平和」の施策と市民参加・「住民自治」の条例制定などが課題となります

### 2023年度予算について

令和5年度の予算は基本戦略に「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」として、子育てを特に重視した編成にしています。また市民に対する説明なども「わかりやすい」との評判もあり、親しみやすさが出ています、説明に市の職員が出向くなどの方法も行うようになりました。さらに市民要求の前進を目指す予算案となるように望みます。

### 温かい中学校給食を

中期計画は中学校給食の全員喫食について「デリバリー方式」の採用をすることが決まりました。そして、2026年度から提供する準備が進められています。

提供方式の問題は工場建設・アレルギー対応・温かさの工夫・残食率などの課題もある中で、多くの子どもたちが求めている「温かさ」が反映できるような給食を望みます。

### 小児医療費の拡充を

中期計画はテーマ1として「子育て世代への直接支援」を述べています。そして小児医療費助成制度の拡充として「中学校3年生までの医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃」としました、こうした記述は山中市長の強い意志が分かります、これにより今年の8月から実現しました。今後は18才までに年齢を引き上げ、さらに横浜が「子育てしやすい街」になるように望みます。



# これから2年間の市政運営に望むこと



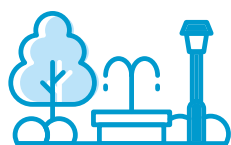
## 敬老パスの有効利用を

山中市長の公約である「75歳以上の無料化」について、市はICカード化し利用実績を調査しました。1ヶ月当たりのバス平均利用回数は16.4回となり、市助成額の利用回数15.5回とほぼ同じとなりました。中期計画は「プロジェクトで検討していく」としました、早く無料化を望みます。



## 安全・安心の 新型コロナウイルス対策

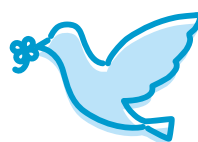
コロナ対応は「コロナの専門家」とのことから、予防接種の接種状況の分析から金・土曜が多いことを突き止め金・土曜の体制を充実することや、コロナ専門病院の開設などをしてきました。今後のコロナ対応も市民の命と暮らしを守る施策を望みます。



## 上瀬谷や山下ふ頭 再開発は

旧上瀬谷通信施設はこれまでの開発計画から、市民の意見を取り入れ緑地の拡大や、地下埋設物の撤去など前進した内容があります。花博後の全体の再開発計画は市民意見の取入れなども検討されなければなりません。

山下ふ頭はカジノなしの再開発としてスタートし、検討委員会なども市民意見の取入れ方法について明確にしていくことが必要です。



## 平和と基地返還

ロシアのウクライナ侵略に対して、友好都市のオデーサ市に対しての支援として「防寒具」などや支援「募金」を取り組む。ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備については「ノースドックの早期返還を求めている本市としては、遺憾」との表明をしました、ノースドックの恒久化にも「遺憾」と態度です。

市内にある基地の返還促進と跡地利用などは市民の意見を取り入れることを望みます。



## 町や市民の防災対策

まちの不燃化推進事業として「延焼の危険性が特に高い地域において不燃化補助」や災害時仮設トイレ整備。風水害対策として河川改修や「防災アプリ」の運用などを計画しています。地域避難所の受け入れ方法の改善や充実なども地域住民の意見を取り入れることも必要です。



## 市民参加と住民自治は

山中市長はこれまでの市民意見を聞く方法の、パブリックコメントと同時に子育て団体との直接対話を進めました。また、直接の市民参加は山下ふ頭のワークショップである、延べ8回開催し参加者の年齢層幅広く女性の参加も多く、若者の自治意識の前進が見られました。今後は各区や施策ごとの市民参加も望まれます。

## 山中市政を 前に進める 応援を

私たちが応援した山中市長は、当選後は十分な応援が出来ず、又4月の市議会選挙も少数与党の状況は変わっていません。中学校給食はデリバリー方式問題などしつかり議論が必要です、山下ふ頭再開発は事業者優先でなく市民の意見を反映することが求められます。平和の問題はノースドックへの米軍揚陸艇部隊配置は今後の市政運営にも大きなカギと思われます。2年後の再選に向けて、住民自治を実現するためにも応援を強めましょう。